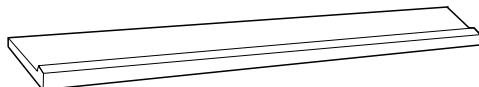


calmo
収納折戸
《柶施工用》

⚠ 施工にあたってのご注意

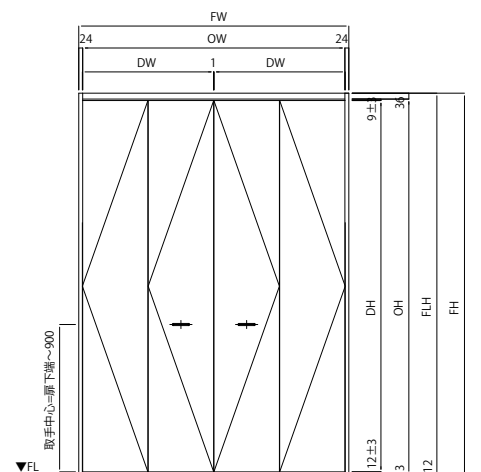
- | 枠組 | | | | | |
|--|---|---|--|---|--|
| 部材名 |   | | | 上レール取付ビス |  |
| 上枠／上レール
(1) | | | | 幅30用(3)
幅60用(4)
幅90用(7)
幅120用(9) | |
| 縦枠
(2) |  | | | | |
| 枠組立ビス
幅30用(8)
幅60用(8)
幅90用(8)
幅120用(8) |  | 躯体取付ビス
幅30用(8)
幅60用(8)
幅90用(8)
幅120用(8) | 
※キャップ付き | 躯体取付ビス
幅30用(2)
幅60用(2)
幅90用(2)
幅120用(2) |  |

下枠梱包	
下枠／下レール (1) ※ビス付き	 

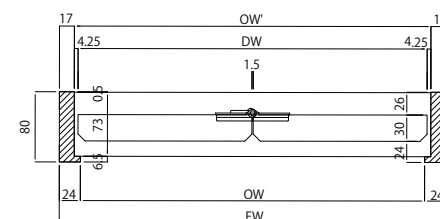
枠	タイプ	FW (mm)	FH (mm)
四方枠	幅30	755	2047/2340
	幅60	1650	
	幅90	2453	
	幅120	3258	

部品梱包				
	幅30用	幅60用	幅90用	幅120用
上ランナー	2	4	6	8
				
上キャッチ	1	2	2	2
				
下ビボット	2	4	6	8
				
下ビボット 受け	1	2	2	2
				
打込パイプ	1	1	1	1
				

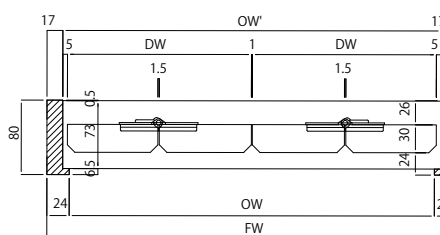
固定桩



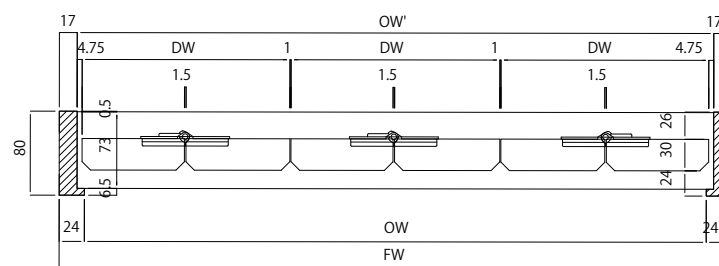
幅30用



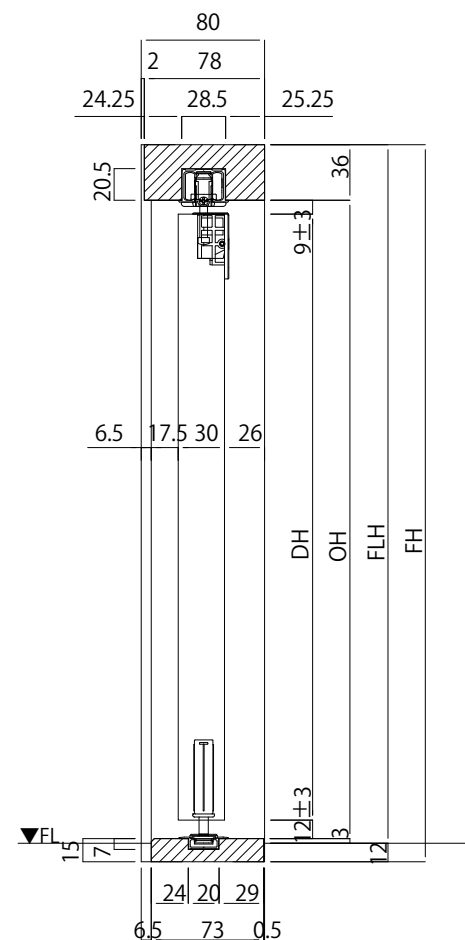
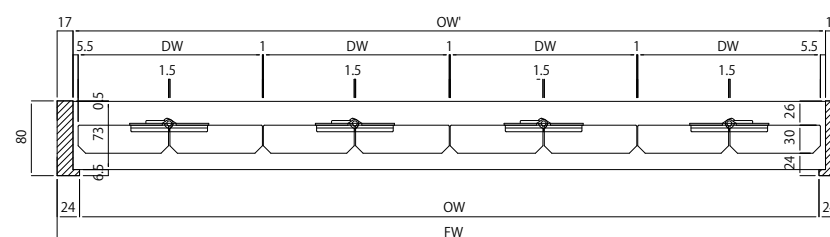
幅60用



幅90用



幅120用

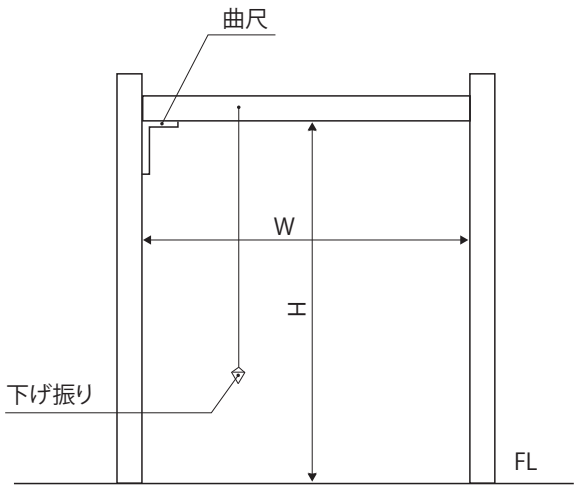


1. 開口部の確認

●扉枠取付け前に、必ず柱・床・マグサの水平・垂直が出ているか確認してください。

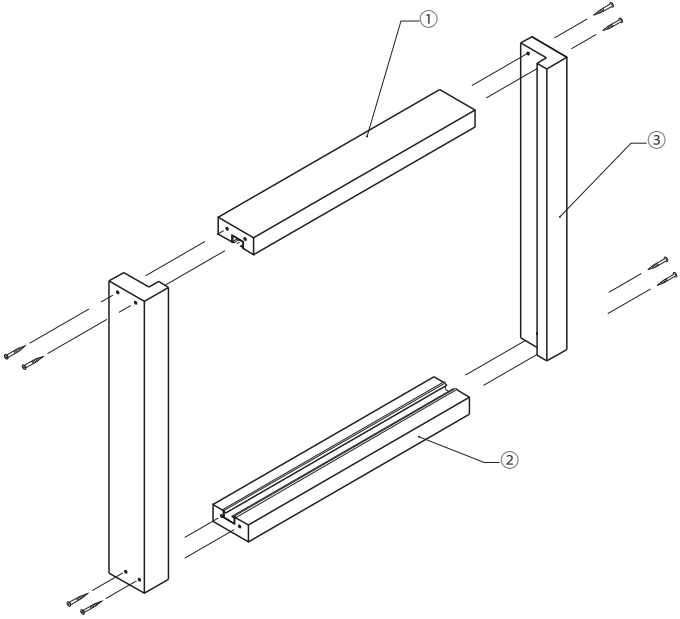
タイプ別サイズ品番

タイプ	サイズ品番
幅30用	71
	81
幅60用	72
	82
幅90用	73
	83
幅120用	74
	84

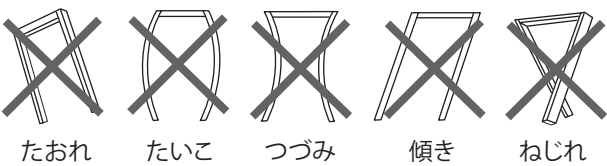


2. 枠の組立てと取付け

- ①上枠に取付けてあるレールをはずしてください。
- ②枠組立て用木ネジにて、枠の組立てを行ってください。
- ③組上げた枠を開口部にはめ込み、クサビ等で上下・左右・前後・倒れ等を調整して位置を決めてください。
- ④枠取付け用木ネジでマグサ・躯体にしっかりと固定してください。（縦枠はリード穴をあけて）キャップ付ビスをご使用ください。
- ⑤上枠はレール溝より取付けてください。
- ⑥切断加工面等を補修セットでタッチアップし、目立たないようにしてください。



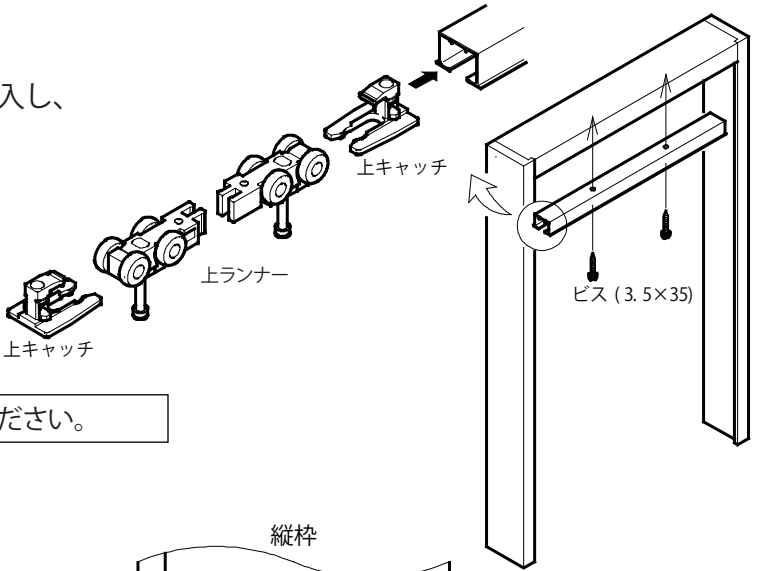
※木ネジ止め時には、枠に傷をつけないように止めてください。
※クサビ等は、左右4個・上2個位を平均に使用して調整を行ってください。木ネジはクサビ等がある場所へネジ止めしてください。
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



3. レールの取付け

<上レール>

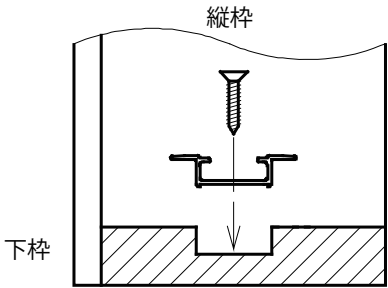
- ①上レールに上キャッチと上ランナーを挿入し、レールを上枠に固定してください。



注意 吊車の挿入方向に注意してください。

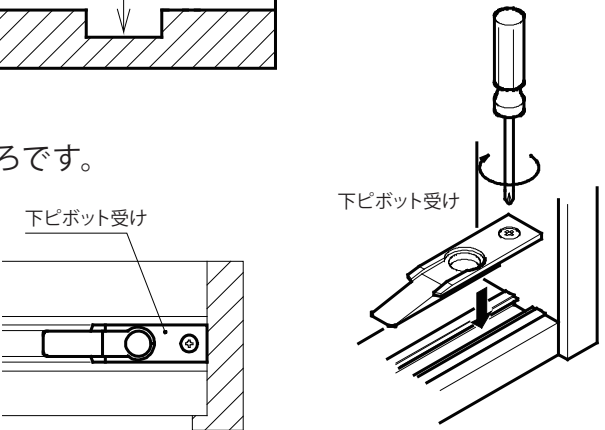
<下レール>

- ①下レールを下枠にビスで固定してください。



<下ピボット受け>

- ①下レールに下ピボット受けを取付けてください。
固定位置は、下ピボット受けの端を縦枠に当てたところです。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。
養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

△ ご注意 △ ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。
※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。